

8月8日、主権者教育推進の一環として市議会議場で「令和7年度小学生議会」を開催しました。市内8つの小学校・義務教育学校から2人ずつ、計16人の6年生が参加。市政に対しさまざまな質問を投げかけ、市長、副市長、教育長が答弁しました。質問と答弁の概要を紹介します。

令和
7年度

小学生議会

問 教育総務課 ☎ 内線3331

高齢者や乳児をかかえる方専用の避難所の設置について



みかみ りょうた
三上 稜太さん

(牛久第二小学校)

高齢者や赤ちゃんがいる方は避難が大変です。さまざまな立場の人が安心できるまちこそ「災害に強いまち」だと思います。人に配慮した防災の取り組みをどのように行っていますか。

答弁▶市では自力避難が困難な方が安全に避難するため、個別の避難計画の作成を進めています。また、高齢者や障がい者などの配慮が必要な方に合わせて福祉避難所を準備し、市内ホテルでは就学前のお子さんと妊娠中の方を優先に受け入れてもらえることになっています。引き続き、皆さんが安心して生活できるよう取り組んでいきます。

学校の短縮日課について



おごし ちとせ
大越 千歳さん

(牛久小学校)

4月初めの短縮日課期間が長くなったこと、夏休みが8月末までになり9月に短縮日課があることの原因を教えてください。ほかにも進めようとしている取り組みや計画があればお聞かせください。

答弁▶4月の短縮日課延長は、クラス替えなどで疲れやすい時期なので、ゆっくりと環境に慣れてほしいこと、先生たちがクラスの様子を把握し、必要なものを準備する時間を確保することが目的です。夏休みの延長と9月の短縮日課は熱中症対策です。ほかにもALTによる英語学習やタブレット使用の授業でのICT支援員のサポートなどで皆さんを全力で応援していきます。

高齢者の迷子対策について



みなみ りな
南 理菜さん

(岡田小学校)

防災無線で高齢者の迷子の放送を聞きます。知らない土地で倒れていないか、などと心配です。高齢者が迷子になった際にどのような対応をしているのか。また未然防止の対策はしていますか。

答弁▶郵便局などに高齢の迷子者発見時に連絡をもらう「SOSネットワーク」、番号シールを衣服等につける「おかえりマーク」、GPS機器の貸し出しなどの早期保護を目指した対応を行っています。また日常の困りごと相談窓口として地域包括支援センターがあります。地域の見守りも未然防止に重要です。積極的なあいさつや声掛けのご協力をお願いします。

牛久市の物価上昇対策について



たきぐち しんば
滝口 真羽さん

(おくの義務教育学校)

最近、物価上昇のニュースをよく目にし、米の値段や備蓄米が話題になっています。これから物価が上がっていくことが不安です。市民の生活を守るためどのような取り組みをしていますか。

答弁▶市では学校給食の食材費の値上がり分を支援することで、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食を提供しています。また、市民の負担軽減につながるようハートフルクーポン券を販売するほか、中学校の給食費や未就学児の医療費の無償化による子育て世帯の負担軽減、事業者への光熱費等の一部に対する補助金の交付などに取り組んでいます。

牛久市の自然を守りながらのまちづくりについて



やまもと ゆうすけ
山本 悠祐さん

(向台小学校)

市には牛久自然観察の森の自然や、牛久シャトーや牛久大仏など、未来に残したいものがたくさんあります。自然や文化を残すための対策や計画、残すべき区域は決まっているのか、教えてください。

答弁▶自然環境や歴史的資源を未来に残すことは持続可能なまちづくりのために必要です。そのため道路、公園、下水道を計画的に配置し、土地利用を定めている「都市計画」を策定し、文化的施設は観光・交流の拠点に位置付けています。今後も多世代が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。

牛久市の温暖化対策について



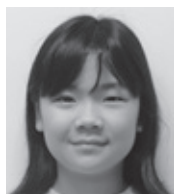
にしじま みほろ
西島 未紘さん

(ひたち野うしく小学校)

パリ協定では5年ごとに温室効果ガスの削減目標を更新、日本も2050年までに排出量実質ゼロを目指しています。世界中で地球温暖化対策をしている今、市ではどのような取り組みをしていますか。

答弁▶市は、「バイオマス産業都市」に選定され、生物由来の資源であるバイオマスを再生可能エネルギーに変える取り組みを行っています。具体的には使用済み食用油から高品質バイオディーゼル燃料を製造し、公用車燃料などに活用。また公共施設でのLED照明や冷暖房への木質ペレット燃料の使用により二酸化炭素排出量の削減に努めています。

牛久市の道路の現状について



あつき ちえ
新國 千恵さん

(中根小学校)

道路の異常は通行人や自転車にとって危険です。また道路の陥没は命の危険があります。今ある危険な道路や、問題になりそうな道路を把握していますか。また工事期間はどのくらいですか。

答弁▶主要道路等を5年ごとに損傷の進行などを調査し、危険な道路や危険になる可能性がある道路を把握しています。その調査結果に交通量などの条件を加えて修繕計画を作り、今後5年で9路線、9kmを順次工事していきます。安全な道路を維持していくために皆さんの通報も大事な情報源です。早急な補修が必要なものは日々補修工事を行っています。

子育てにかかる予算について



よしだ はるか
吉田 遥さん

(神谷小学校)

市の予算の15%が教育費だと知りました。今後、物価高騰や少子高齢化が進むと、教育費は減ってしまうか、また、令和7年度は教育費を主にどのようなことに使うのか、教えてください。

答弁▶令和7年度の教育費の内容は主にICT教育支援、スクールアシスタントの教育活動支援、ALT派遣などの授業支援のほか、引き続きエアコンの更新や照明のLED化などの施設整備や、中学校の給食費無償化等にも取り組んでいます。総合計画で「子育て全力応援プロジェクト」を掲げているなかで、教育費が減額とならないよう、努めていきます。



スポーツ選手との交流の機会について



すみだ じょうすけ
角田 承介さん (ひたち野うしく小学校)
スポーツ選手と子どもたちの交流をテレビで見ました。調べてみると市や学校から選手側に依頼をしていることが分かりました。そのような機会を市内の学校で設けたことはありますか。

答弁▶県内に拠点を置くプロスポーツ4団体と「フレンドリータウン協定」を締結しています。その中でプロスポーツ選手と触れ合う機会を作ることを考えています。選手との交流機会を創出できれば、皆さんにとってかけがえのない体験になると思っています。少しでもそのような場を提供できるよう検討を進めます。

観光・地域の発展について



つつみ あい
堤 あいさん (岡田小学校)
牛久大仏のギネス記録、牛久シャトーの日本遺産を知りました。市には魅力がたくさんあります。もっと魅力を発信して他県の人たちに知ってもらうことが大切だと思います。どのような取り組みを行っていますか。

答弁▶魅力をPRすることで住みたい、訪れたいまちとして選ばれるようにしたいと考えています。そのため、アウトレットでの特産品の販売やアンテナショップでのPR、また都内開催のイベントに参加することなど積極的に取り組んでいます。そのほかにもSNSの活用やテレビアニメとのコラボ企画など、さまざまな手法で魅力を発信しています。

牛久市の自然災害への対応について



みずの ことば
水野 詞葉さん (牛久小学校)
授業で竜巻が起きた際の身の守り方、避難の仕方を調べています。竜巻や台風などの自然災害による被害を減らすために、防災対策を行っていますか。また避難が困難な人たちの対策はありますか。

答弁▶自然災害は防ぐことができないため、防災無線、SNS、メルマガ、アプリなどで情報を伝えています。また避難時に必要な物品を防災倉庫に備蓄し、スーパーなどと災害発生時に必要な物資を届けてくれる約束も結び、災害に備えた対策を取っています。今後も呼びかけや防災訓練などを実施し、防災意識向上に努めていきます。

体育館へのエアコンの設置について



みやこし ひろむ
宮腰 大夢さん (牛久第二小学校)
全校体育館へのエアコン設置は財政上難しいと思いますが、部活動がある中学校、そして今後、小学校の体育館にも設置することはできますか。計画を伺いたいです。

答弁▶現在校舎のエアコンの入れ替えを優先的に進め、計画的に工事を行っているため体育館には設置できない状況にあります。しかし熱中症対策としてのエアコン設置の重要性も承知しています。設置するためには大規模工事が必要で、多額の費用がかかるなど、さまざまな課題があります。今後は先進的な事例の研究をしながら、検討していきます。

自然観察の森について



おおつき はな
大槻 花奈さん (神谷小学校)
自然観察の森は環境学習や憩いの場として大切です。この素敵な場所を多くの人に知ってもらいたいです。知ってもらうためにどのような取り組みをしていますか。また、今後の取り組み予定はありますか。

答弁▶多くの方に知ってもらうため、広報紙、旅行雑誌での紹介、SNS等で情報発信するなど、来園者の増加につながるよう取り組んでいます。今夏はJR東日本の一部の駅のデジタルサイネージでも情報発信を行いました。そのほかにも自然を感じられる各種イベントを実施しています。今後も良好な状態で自然環境に触れ合える憩いの場となるように管理運営をしていきます。

牛久市の持続可能な農業について



かんだ めい
神田 恵衣さん (中根小学校)
授業で農業従事者の減少を知りました。若い世代が農業の魅力を知れる体験や魅力を伝える機会があれば、農業をやりたい人が増えると思います。市の今後の政策はありますか。

答弁▶農業を始めたい方が市内農家のもとで学べる環境を整え、収入が安定するまで補助金を交付するなど、若い世代が安心して農業に取り組める政策を実施しています。農産物をイベントに使用してもらうなどのPR活動もしています。今後も皆さんに美味しい牛久市産の農作物を提供できるよう取り組んでいきます。

旧奥野小学校の跡地利用について



くろだ ゆうじん
黒田 悠仁さん (おくの義務教育学校)
おくの義務教育学校は校舎一体型になり、北校舎は使用していません。廃校活用をHPで見ました。使用していない校舎の活用と多くの人が牛久市に来るような使用方法を考えていますか。

答弁▶おくの義務教育学校は4月に一体型校舎になりました。北校舎の利活用については令和4年度から協議を進め、地域の皆さんと意見交換をし、検討を進めています。一方、法律などの規定で土地利用に制限もあります。その中で民間事業者からも提案を出してもらい情報を集めています。これらの結果を踏まえて来年の3月には今後の進め方を決めたいと考えています。

大人の医療費の助成金について



やまだ かいり
山田 海璃さん (向台小学校)
妊産婦、小児などを対象にマル福制度があり、医療費の負担額が一日600円です。しかし大人は年齢や所得によりますが、負担額が大体3割です。今後は大人も医療費を600円程度にすることは可能ですか。

答弁▶大人の医療費600円の実現は残念ながら難しいです。理由は多額の予算が必要であり、それをしてしまうとごみ収集や道路修繕ができなくなることもあるからです。しかし、大きな病気などで一度にたくさんのお金がかかるときは一定の金額以上はかからない仕組みがあります。皆さんには医療費を抑えるためにも規則正しい生活を送ってもらえるとうれしく思います。